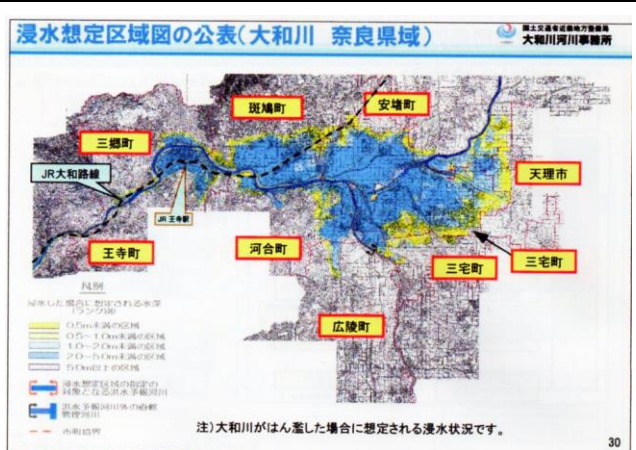
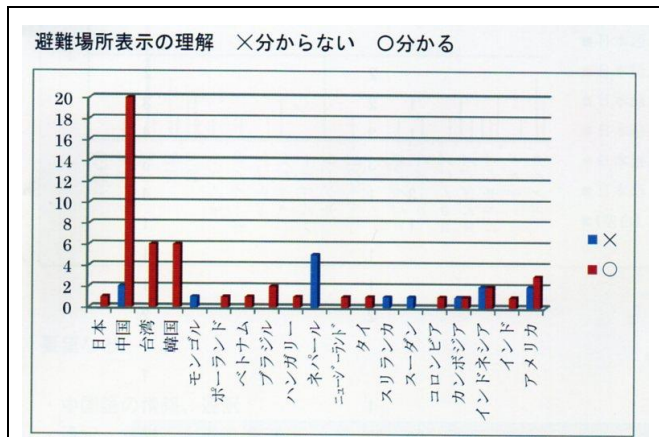


平成 27 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	特定非営利活動法人 奈良国際協力サポーター
活動テーマ	外国人が災害時安全に避難できるための事業



日本語が十分に分からない、地域社会のことが分からないなど、外国人は情報弱者である。災害時に外国人が安全に避難できる状況を地域社会で創る事は必要である。社会的な弱者が住みやすい社会は、すべての人にとって住みやすい社会と考える。

災害時に自治体が果たす役割は大きい。地域社会で活用できる災害時対応の冊子を作り、自治体で活用してもらおう。災害時だけでなく、日頃から災害に対する準備は必要で、日常生活においても活用できるものであれば活用は広がると考える。

奈良県内に住む外国人に対して、災害時の避難に関するアンケート調査を実施する。66 人から回答を得た。内容は、近くの避難場所を知っているか、避難場所の表示（日本語のみ）が分かるか、周りに住む日本人との関係（情報が得られるか）などである。基本的には説明しながらの個人対応で行った。通訳は必要に応じて、同行してもらった。避難場所の表示を多くの人が理解していたが、漢字圏でない国の人には分からない人が多かった。

冊子「奈良の災害とその対応」ができたので、先ず日本人に役立つ内容である。その上で、外国人に役立つように、自治体に配布するなど活用を進める。奈良の地域情報が多くあり、外国人を対象としている独自性があると考え。

学習会が実施できたのは良かった。(写真)外国人と日本人が災害について一緒に学ぶ機会を作ることが出来た。このような学習会は継続して出来ればと思っている。多くの外国人が冊子を活用できるように、内容の多言語化など今後考えていく必要がある。